日本山岳会創立 120 周年 グレート・ヒマラヤ・トラバース

日本山岳会東ネパール登山隊 2020 East Nepal Expedition of The Japanese Alpine Club 2020

登山計画書



PabukKang

主催:公益社団法人 日本山岳会

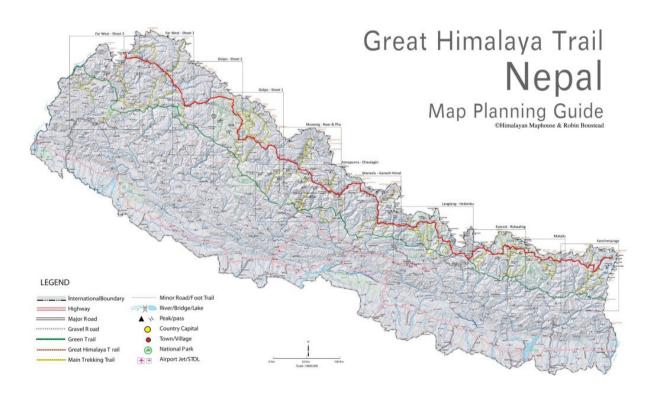
計画概要

日本山岳会は 2025 (令和 7) 年に創立 120 周年を迎えます。記念事業の一つとして、2020 年春から 2025 年秋にかけて実施する、グレート・ヒマラヤ・トラバース (カンチェンジュンガ〜K2までの約 5000km 踏査)を企画しました。探検的ヒマラヤ登山の少なくなった現代にあって、これまで 80 余年の長きにわたって日本山岳会や多くの登山家がおこなってきたヒマラヤ高峰登山の足跡を辿りながら、ヒマラヤ地域の人と自然とその生活の変遷、地球温暖化により縮小を続けるヒマラヤの氷河調査などもおこなう「温故知新」の踏査です。また、1 枚の地図から目的の山やコースを決め、自分たちの手で頂を極めるというヒマラヤ登山本来の探検的登山を伝承する役割も担っていきます。

グレート・ヒマラヤ・トラバースは、50日前後で春・秋、年2回の踏査を予定しています。

第 I 期 (2020 年春~2022 年秋)

カンチェンジュンガ〜マカルー〜エベレスト〜マナスル周辺を通過し、西ネパールをインド国境に到るグレート・ヒマラヤ・トレイル(G・H・T)の踏査及び未踏峰・未踏ルート登頂



第Ⅱ期(2023年春~2024年秋)

インド国内

第Ⅲ期(2025年春~秋)

パキスタン国内

1st ステージ 2020 年春

1: 隊の名称 日本山岳会東ネパール登山隊 2020

East Nepal Expedition of The Japanese Alpine Club 2020

2:派遣母体 (公益社団法人) 日本山岳会

3:目 的 グレート・ヒマラヤ・トレイル カンチェンジュンガエリア踏査及び ネパール・チベット国境上の PabukKang(6244m)登頂

4:期 間 2020年プレモンスーン (3月初旬~4月中旬)

5:メンバー及び事務局

重廣恒夫 (7931) 関西支部

1947年10月11日(72歳)

〒651-0095 兵庫県神戸市中央区旭通4丁目1番3-2301

TEL: 090-3721-6259 E-mail: tsuneo.shigehiro@asics.com

緊急連絡先:078-855-6667 重廣元子(妻)

松田宏也 (11748) 千葉支部

1955年12月28日(64歳)

〒285-0850 千葉県佐倉市西ユーカリが丘 5-12-4

TEL: 070-4161-6038 E-mail: matsuhr01@gmail.com

緊急連絡先:043-371-6427 松田千鶴代(妻)

吉井 修 (12342) 首都圏

1961年3月4日 (58歳)

〒182-0017 東京都調布市深大寺元町 4-8-6 サンパール深大寺 205

TEL: 090-3688-8161 E-mail: orewayaruzo@gmail.com

緊急連絡先:0744-32-3440 藤田美津子(妹)

事務局

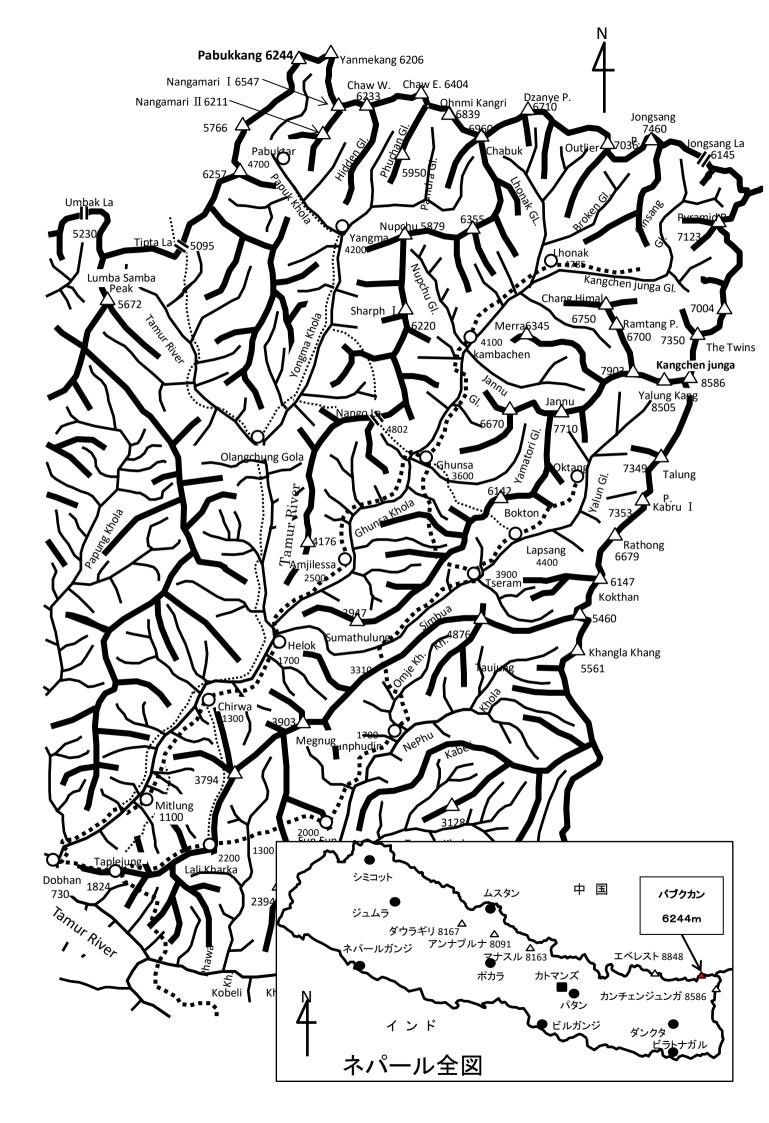
伊丹紹泰(7490) 首都圏

〒143-0021 東京都大田区北馬込 1-23-11-201

TEL: 090-8879-9870 E-mail: itami-ts@sc4.so-net.ne.jp

6:日程 グレートヒマラヤトラバース1回目

	:	グレートヒマフヤトフバース1回目				
No.	Day	P lace	Height(m)	Time	M eal	
1		NRT • KIX~ICN~Kathmandu	1300			
2		Kathm andu	1300			準備(カトマンズデポ等確認)
3	3月2日	Kathm andu	1300			準備(食料・装備買出し)
4	3月3日	Kathm andu	1300		Restaurant	準備(梱包・他)
5		Kathmandu~llam	1300		Restaurant	
6	3月5日	llam∼Taplejung	1820		Restaurant	
7	3月6日	Tap le jung	1820		Restaurant	キャラバン準備
8	3月7日	Tap le jung/La li K harka	2266	7時間	Bhatti	
9	3月8日	LaliKharka/Kande Bhan jyang	2129	5時間	Bhatti	
10	3月9日	Kande Bhan jyang/M am ankhe	1785	9時間	Bhatti	
11		M am ankhe/Yam phud in	2080	6時間	Bhatti	
12	3月11日	Yam phud in	2080		Bhatti	休養日
13	3月12日	Y am phd in/Tortong	2995	10時間	Bhatti	ジャヌー遠望
14	3月13日	Tortong/Tseram	3870	7時間	Bhatti	カブルー遠望
15	3月14日	Tseram /Ram che	4580	4時間	Bhatti	展望好適地
16	3月15日	Rmche/(Octang4730m往復)	4580	4時間	Bhatti	カンチェンジュンガ展望
17	3月16日	Rm che/Tseram	3870	3時間	Bhatti	
18	3月17日	Tseram /Selele Cam p	4210	9時間	Bhatti	クンバカルナ展望
19		Selele Cam p/G hunsa	3596	6時間	Bhatti	ナンゴー・ラ展望
20	3月19日	G hunsa	3596		Bhatti	休養日
21	3月20日	G hunsa/K angbachen	4050	6時間	Bhatti	
22	3月21日	K angbachen/Lhonak	4780	5時間	Bhatti	
23		Lhonak/Kanchen jungaBC	5143	4時間	Tent	
24		K ancheng jungaB C /K angbachen	4050	4時間	Bhatti	
25		K angbachen/G hunsa	3596	3時間	Bhatti	
26	3月25日		3596	- 11.3		休養日
27	3月26日		3596			キャラバン準備
28		Ghunsa/Nango La cam p	4776	6時間	Tent	
29		Nango La cam p/Yangm a Khola	3460	5時間	Tent	
30		Yangm a Khola/Yangm a	3191	4時間	Tent	
31	3月30日		3191	10 [80]		 休養日
32		Yangm a/Chhche Pokhari	4390	5時間	Tent	
33		ChhchePokhari/Pabuktar	4750	5時間	Tent	
34		Pabuctar/Ye jyum aro	5320	5時間	Tent	
35		Yejyum aro/G han La	5746			登山準備
36		Ghan La/P6100	6100	8時間		登山用テント・食料
37		P 6100/P abukukang/G han La	5320	8時間		登山用テント・食料
38		Ghan La/Pabuktar	4750	7時間		登山用テント・食料
39		Pabuktar	4750	[144][1]		帰路準備
40		Pabukutar/Yangm a	3191	8時間	Tent	
				Oh4l即		
41		Yangm a Yangm a/Yangm a Khora	3191 3430	C D== 88		休養日
42				5時間	Tent	
43		Yangma Khora/O langchun Gola	3191	4時間	Bhatti	
44		0 langchun Gola/Iladanda	2051	5時間	Bhatti	
45		Iladanda/Ch irw a/Tap le jung	1820	7時間		ジープ (CIW~TPJ)
46		Tap le jyung	1270		Restaurant	
47		Tap le jyung	1270		Restaurant	
48		Taplejung~Ilam	1300		Restaurant	
49		llam ~Kathmandu	1300			整理・デポ
50		Kathm andu	1300			整理・デポ
51		Kathm andu	1300		Restaurant	整理・デポ
52		Kathmandu∼ICN				
53	4月21日	~NRT · KIX				



7: 収支予算

【収	入】	【支	出】		
		〈国内〉		〈国外〉	
個人負担金	3,000,000円	装備費	30,000 円	装備費	841,000円
本部助成金	1,000,000円	食糧費	23,000 円	食糧費	120,000 円
募金	1,000,000円	医薬品	20,000円	交通費	210,000 円
		通信費	250,000 円	滞在費	165,000 円
		航空券代	300,000 円	キャラハ゛ン費	230,000 円
		保険料	300,000 円	人件費·他	2,100,000 円
		その他	45,000 円	保険料	230,000 円
				登山料他	136,000 円
計	5,000,000 円	計	968,000 円	計	4,032,000 円

8:環境保全対策

- ① 日本及びネパール国内での調達物品の梱包資材を削減し、現地に廃棄物を残さない。
- ② 登山用品及び生活用品の完全回収を行う。
- ③ 植生保存のため、燃料としての植物燃料を使用しない。
- ④ キャラバン中及び登山中に環境汚染、環境破壊をしない。

9:登山隊本部

(公益社団法人) 日本山岳会

〒102-0081 東京都千代田区 4 番町 5-4 TEL: 03-3261-4433 FAX: 03-3261-4441

10: 現地連絡先

Cosmo Trek Pvt.Ltd Takehiko Yanagihara

PO.BOX: 2541 Kathmandu NEPAL

Khursaniter Lazinmpat Kathmandu NEPL

TEL: +977-1-4416226,4411437 FAX:+977-1-40041674

E-mail:fumi@mos.com.np cosmo@mos.com.np

2020:02:11